

1976年7月～1977年6月 クラブ成績

月	会 員	退会	入会	理事会	委員会	実出席 (%)	修 正 (%)	件	アクティビティ
7月	67	1	0	1	8	93.2%	100%	0	0
8月	67	0	0	1	6	87.9%	99.2%	5	228,240円
9月	67	0	0	1	8	77.3%	100%	4	51,100円
10月	67	0	0	1	5	88.6%	100%	5名 4	労力奉仕 629,600円
11月	(不1) 69	0	2	1	5	85.3%	97.1%	9名 1 1	労力奉仕 献 血 350,205円
12月	(不2) 69	0	0	1	3	88.8%	98.5%	1	314,570円
52年 1月	(不2) 68	1	0	1	8	86.4%	100%	3	132,820円
2月	(不3) 68	0	0	1	5	84.1%	99.3%	2	208,800円
3月	(不4) 68	0	0	1	4	88.3%	98.4%	0	0
4月	(不4) 67	1	0	2	4	76.5%	97.6%	5名	労力奉仕
5月	(不4) 66	1	0	1	4	90.5%	100%	1	5,000円
6月	(不3) 62	4	0	2	3	83.2%	94.9%	2	16,000円
12ヶ月	期首 68	8	2	14	63	86 %	99%	3件 1 23件	労力奉仕 献 血 1,936,335円



堺陵東ライオンズクラブ機関誌

事務局 〒590 堺市戎之町西1丁3-3

電話 (0722) 38-3125

例会日 毎月第2・第4水曜日午後6時15分～7時30分

例会場 堺商工会議所5階大ホール 電話(0722)38-5581(代)

結成日 1972年8月26日

結成順位 302・No.1705 W-A地区No.112

スポンサー 堺登美丘ライオンズクラブ

チャーター 1972年12月9日

会員数 62名



8号

1976.7～1977.6

1976年7月～1977年6月 活躍された役員

会 長	L. 中 谷 秋 男	テールツイスター	L. 武 川 圭 弘
前 会 長	L. 藤 井 勉	一 年 理 事 (副 幹 事)	L. 太 田 貞 雄
第 一 副 会 長	L. 福 田 一 夫	一 年 理 事 (副 ツイスター)	L. 釜 中 与 四 一
第 二 副 会 長	L. 辻 野 建 市	一 年 理 事	L. 中 島 三 郎
第 三 副 会 長	L. 河 本 貢	一 年 理 事	L. 藤 木 正 夫
幹 事	L. 中 辻 弥 千 幸	二 年 理 事	L. 篠 田 桂 司
ライオンテーマー	L. 宮 田 種 夫	二 年 理 事 (副 テーマー)	L. 中 尾 健 一

1976年7月～1977年6月 委員会活動された委員

第一副会長 L. 福田一夫	出席委員会	◎L. 三原 ○L. 西川 L. 住友 L. 知覧 L. 太田
	会員委員会	◎L. 河原 ○L. 松永 L. 藤岡 L. 米沢 L. 陶器
	財務委員会	◎L. 大浦 ○L. 江辺 L. 横田 L. 中尾(啓) L. 松本 L. 藤木
	計画委員会	◎L. 篠田 ○L. 津田 L. 山田(隆) L. 浅香 L. 多田
第二副会長 L. 辻野建市	情報PR会 報委員会	◎L. 山田(修) ○L. 角谷 L. 中村(宗) L. 森村 L. 東瀬 L. 中尾(健)
	接待委員会	◎L. 木下 ○L. 辰巳 L. 藤井(太)
	大会委員会	◎L. 大前 ○L. 藤原 L. 小路口 L. 大門 L. 得津 L. 中井
	会則委員会	◎L. 城 ○L. 能崎 L. 阪口 L. 今井 L. 菊池 L. 岩崎
第三副会長 L. 河本貢	社会福祉レクリエーション 公衆安全環境保全委員会	◎L. 浅野 ○L. 西野 L. 金沢 L. 渡辺 L. 石川 L. 中島
	市民教育国際協調青少年 交換委員会	◎L. 川井 ○L. 野村 L. 山口 L. 増井 L. 松下 L. 高橋
	視力保護盲人福祉保健聴力 保護聾者福祉委員会	◎L. 香川 ○L. 梅田 L. 武田 L. 中村(幸) L. 鳴尾 L. 釜中

◇1976～1977 活躍された役員および委員

親睦と奉仕……………会 長 L. 中 谷 秋 男 …… 1

奉仕とは自我を減すること……………前 会 長 L. 藤 井 勉 …… 2

何よりも批判は謙虚に賛辞は最大に……………幹 事 L. 中 辻 弥 千 幸 …… 2

波紋の一石……………会 計 L. 佐 藤 創 …… 3

次期会長の抱負と所信…………… L. 福 田 一 夫 …… 4

…………… 会 員 委 員 長 L. 米 沢 康 夫 …… 4

尻尾を踏めずに尻尾に券かれた話……………テールツイスター L. 武 川 圭 弘 …… 5

スマートでなかったテーマー……………ライオンテーマー L. 宮 田 種 夫 …… 6

東南アジアフォーラムに参加して…………… L. 太 田 貞 雄 …… 6

第一副会長としての思い出……………第一副会長 L. 福 田 一 夫 …… 7

二年理事として……………二 年 理 事 L. 中 尾 健 一 …… 8

今年の思い出例会あれこれ……………情報PR委員会 L. 角 谷 順 亮 …… 8

一年をふりかえって……………出席委員長 L. 三 原 宏 己 …… 9

…………… 社 会 福 祉 委 員 長 L. 浅 野 亮 一 …… 9

…………… 接 待 委 員 長 L. 木 下 秋 水 …… 10

…………… 会 則 委 員 長 L. 城 光 己 …… 10

“光陰矢の如し”……………第二副会長 L. 辻 野 建 市 …… 11

親睦と協調の賜……………計 画 委 員 長 L. 篠 田 桂 司 …… 12

一年をふりかえって……………計 画 委 員 長 L. 篠 田 桂 司 …… 12

年次大会に参加して思う……………大 会 委 員 長 L. 大 前 清 …… 12

副委員長として……………財 務 委 員 会 副 委 員 長 L. 江 辺 信 郎 …… 13

真のアクティビティを……………第 三 副 会 長 L. 河 本 貢 …… 13

YE委員会のこの一年……………市 民 教 育 青 少 年 交 換 委 員 長 L. 川 井 敏 弘 …… 14

くらやみに光を……………視 力 保 護、盲 人 福 祉、聴 力 保 護
…………… ろ う 者 福 祉 委 員 長 L. 香 川 哲 …… 14

堺陵東L.C.ゴルフ部長としての……………二 年 間 を 振 り 返 っ て …… L. 藤 木 正 夫 …… 15

会報発行にあたって……………情 報 P R 委 員 長 L. 山 田 修 …… 16

あとがき…………… 16

1年をふり返って

親睦と奉仕



会長 L. 中谷 秋 男

昨年指名委員会の指名を受け年の順番であると言うことで会長として1年クラブ運営の
大任を命ぜられました。そして1年役員の方
々の御支援のもとに微力ながら頑張っ
て参りました。幸いにもメンバー各位の
深いご理解とご協力に依りまして、大過
なく最終例会も終らせて頂きましたこと
を深く感謝すると共に厚くお礼申し上げ
ます。各役員、委員長始め会員の皆さん
、至らぬ私でありましたが1年間色々
とお世話になり本当にありがとうございました
。親睦と奉仕を目標の第一に掲げ理事
会を規律ある中にも明るく楽しい会合に
して、その空気を例会に反映していくよ
うにお願いしてスタートを切りました。理
事会の回を重ねる毎により親密と友情が
増し明るく楽しい理事会の印象を強く
して頂きました。その理事会も無事終り
ました。幹事始め理事の皆さんのご苦
労に対し改めて心からお礼申し上げます
。中でもとりわけライオンテーマーは、
どちらかと言えば一番陽の当らぬ役で
ありますが、終始一貫黙々とクラブのた
め、その役職を立派に全うして頂きました

この業績は他の役員諸氏も認める所であり
親睦と奉仕の範を示して頂いたと言っ
ても過言でないと存じます。最近特に
此の1年をふり返って私なりに考えさ
せられた事はスポーツの世界では其の
種目や時と場合に依っては個人プレー
は光り輝きますが、世の団体、その中
でも奉仕団体に於ては、むしろ逆である

と言うことです。個人プレーに走り過ぎ
クラブの迷惑を考えずに行動したり、他
のメンバーを利用したり中傷することに
明け暮れるが如き言動は、奉仕の精神
迄蝕んでゆく危険性が大きいと思いま
す。寛容の精神は自分に対して求める
のではなく、むしろ厳しくする事が自
分を大切にし真の親睦につながり、ク
ラブ内では心の奉仕を行うことにな
ると考えます。お金と労力だけでなく
心の奉仕も大切であることを忘れず
、また部だけでなくクラブの内部に対
しても労力と心の奉仕が是非必要であ
ろうと思います。「人の人たる所以は、
人と人の和合なり」と言う諺がありま
す。私達はライオンズを語る以前に先
ず人間性、常識ある暖かい心、親睦
と奉仕の「心」をより多く持つメン
バーでありたいと思います。広い世界
で折角縁あって結ばれたわずか70名
の同期の桜。仲良くすがすがしい気持
で金銭だけでなく労力、特に心の奉仕
をクラブ内外に行き渡って雨降って
地固まるの例えの通り、目前の五周
年記念事業を立派に成功させるという
目標に向かって邁進し、クラブの発展
と名誉のために怒力することを皆さん
と共に固く誓い、最後にメンバー各位
のご健康とご多幸をお祈りしてペン
を置きます。



奉仕とは自我を減すること

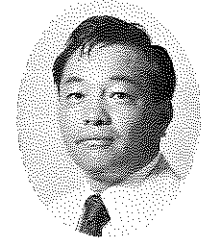
前会長 L. 藤 井 勉

先日大阪で開かれた日本ライオンズクラブ
結成25周年記念大会に出席された国際
ライオンズクラブ会長L.ジュアン・ソ
ブラールは帝国ホテルでのインタビュー
にて記者団が「ライオンズクラブとい
うのは、ほんとうはなんですか？世界
最大の奉仕団体が目標といわれている
が煮つめると有産階級の慈善ごっこ
団体のような印象ですが？」との質問
に対してソブラール会長は「そんなこ
とはない。われわれはエゴイズムを打
破しようとする団体なのです。連帯し
、助力を必要としている人々に援助を
与えるのです。クラブに入ることによ
って得をしようと考えている人々には
、入会していただく必要はない。われ
われは力を合わせて「クラブのそとの
人」たちを助けるのです。私が国際会
長になって決めた標語は「あなたこそ
期待されている」わがクラブの目標は
奉仕することです。自分が損をしても
奉仕例は無数にあります」と語ってお
られま

したが、ともかく巷間ライオンズクラ
ブに対する世間の眼は諸者の質問に代
表されるが如く至って厳しいものがあ
る、さすがに会長は我々メンバーの
気持を上手に答えられたと感銘致した
次第です。

奉仕という考え方は先ず自我を減して
からでなければならないと思う。しか
しながら言うは易いが実行はむずか
しい問題を含んでいることは否定しな
い。しかし努力は誰でもできるもので
ある。私もライオンズクラブに入会さ
せて戴き色々な役職につかされて戴
いたが今迄の自分をふり返ってみて
その中に真に奉仕しているという気持
になったことが、どれだけあるかと
言われると疑問が生ずる。人の為
に奉仕し、決して恩にさせないとい
う気持を大切にしていきたい。我が
堺東ライオンズクラブも早や5周年
を迎え、会員一同心を新たに、一丸
となって5周年記念事業を立派にや
りとげる事を祈念して拙文を閉じま
す。

何よりも「批判は謙虚に 賛辞は最大に」



幹事 L. 中 辻 弥 千 幸

もともとライオンズメンバーの全体的な
個性の特徴は、異業種の集合体から成
る団体であることは、衆知の限りであ
る。従ってメンバー各々の個性の相違
や、考え方、言動、行

動のすべてに、異なった個性があっ
て当然であると思う……。私はこれら
の異なった個性の集合体が団結した
行動と、アクティビティを主体とし
親睦を目的として互いに行動を共

にするとすれば、“妥協”以外に他に何も無いと考えられる。互いに意見を出し、そこで討論を重ね、そこで“妥協点”を見出しより良い方向へと行動を共にする……。という事が大切かと思われる。

私がこの主題を掲げたのは他でもない、今年度後半期に行なわれた堺登美丘L. C十周年記念式典の際、会長L.中川の挨拶の中にこの主題を特に強調された点に意を深くしたので

ある。我がクラブもこの点については学ぶ必要のある事を明記したい。特に次年度は五周年記念行事を中心としたクラブ運営を行なう上にも、いろいろな行事内容もある事もさることながら、“批判は謙虚に賛辞は最大に”を良き教訓として、今後のクラブ発展に我々メンバー全員が認識を新たに、互いにその妥協点を見出す事に努力し堺東L. Cの将来への発展に前進することを望む……。

波紋の一石

会計 L. 佐藤 創



チャーターメンバーとして入会して早や四年の月日が過ぎました。此の間色々な面で、良き友を得ると共に人生での先輩、後輩の立派な方々の物の見方、考え方、生き方、等々色々大変勉強になり私の人生上の尊い教訓になりましたことを深く感謝しております。この一年間会計という大役をお受けし、なんとかわからぬまゝに間もなく任期満了がきます。此の間、会員の皆様に迷惑をかけているのではないかと反省しております。しかし最後の締めくりだけは私なりに懸命な努力を致しております。私も会計をやったお陰でライオンズクラブの仕組みも良く理解できました。会長初め会員の皆様のご協力を得て、なんとか各委員会のご要望にこたえられる会計であったと満足している次第です。

アクティビティも今年は来期に五周年記念を迎えるため、ひかえめでしたが、来期の会計は大変だと思います。アクティビティに就いて私なりに感じた事をのべさせて戴きますとこのライオンズクラブでも福祉関係に大半集中しているようですが、ある面やむ得ぬ点があるかも知れませんが、昨今行き過

ぎの福祉が問題になって居ります。此の世のため、人のため明るい社会を作り出すことが本意ならまだまだやらねばならない事が山程あると思います。アクティビティもただ金や物を寄贈すれば良いというだけではなく真心のこもったアクティビティであってほしいと思います。仏作って魂入れずの感じがしないでもありません。ただ金額で競い合うのは考えさせられる次第です。朝日新聞に選抜野球で活躍した智弁学院の修学旅行に韓国の学生、若人達の国を想う尊い精神とその礼儀の正しさ、また京城の町の美しさ、ゴミ一つ落ちていない事等々、それにひきかえ日本の若人達がいかにだらしく、自己主義で国を想う心の少なさを反省する作文がありました。この旅行は一部生徒の反対を押切って行ったとの事ですが、学校の態度も立派であると共に、生徒達の肌で感じた素直な気持ちを作文で表現したことも私は深く感激を致しました。この生徒達はいずれ日本を背負う若者達であるからです。我々L.も好むと好まざるにかかわらず日本人である事の自覚を今一度考え、祖先から受けついで日本の国をもっと美しい

山、美しい川、海、そして美しい心の日本にしたいものです。それには先ず我が堺の町を美しくすることから始めたいものです。吾々L.が多くの人々に呼びかけ日本で世界で美しい町堺を作りたいものです。これには多くの金

と労力奉仕が必要です。美しい町が出来ることにより美しい心が生れ、美しい国が出来ることにより国を想う人々が増えることでしょう。我々L.が波紋の一石になりたいと願っております。

次期会長の抱負と所信

L. 福田 一夫

会長スローガン「感謝の気持で実のある奉仕」堺東ライオンズクラブは五周年を迎えるに当り重点目標は五周年記念事業を成功させる事にあり、クラブ運営の尚一層の充実を計りたいと考えます。

① 実のある社会奉仕事業

ライオンズクラブのモットーはワイサーブであります。奉仕こそ我々の生命であり、使命であります。何か社会に奉仕しよう。或いはしなければならぬと考える人々が集ってライオンズクラブが生まれたのではないのでしょうか。例え小さな奉仕でも人の幸せを願う善意の輪が次から次へと広がっていくのならそれは大きな社会奉仕として偉大な力を発揮するものであります。初代会長が「一隅を照らすものは国の宝なり」と傳教大師の言葉を引用し奉仕に徹することを宣言された事を思い起し五周年に当り更に自らの手を汚し足を運んで社会に感謝される、実のある奉仕、を考へ全員で五周年記念事業を成功させる所存であります。

② 魅力あり、かつ変化に富んだ例会計画の樹立と実践

例会が待ち遠しいといわれるような例会計画によって出席率をよくしメンバー自身の修練に役立ち、そしてドロップを防ぎ新会員を獲得する事によってクラブ発展の基礎となるよう、新鮮で楽しい例会計画を実践するよう努力したいと考えております。

③ 会員の出席率は純出席85%以上修正 100

%を目標といたします。

④ 会員増強については量より質の基本方針を貫き5%以上目標とします。その条件として奉仕の意欲があふれクラブ活動に積極的に参加してライオンズムの発展に寄与される人でなければなりません。そして他の会員と協力し合って目的を達成していく事の出来る人調和のない親睦と融和ができない人は失格だと思っております。

⑤ 姉妹提携の実施

フレンドシップの高揚の一環として姉妹提携の準備を進める。

以上メンバー諸兄の一段の奮起とご協力をお願いいたしますと共に今まで以上に友情を盛り上げていこうではありませんか。

会員委員長

L. 米沢 康夫

本年度の会員委員会の活動としては優秀な新入会員の増員と退会者の防止に全力をあげる事でした。私は任期末になって急拠委員長代理を任命し、短い期間に何にもすることができなかったことを今反省しております。しかし短い期間でありましたが、私なりに勉強できたことは誠に幸でありました。最後にご協力賜りました委員の方に厚く、お礼申し上げます。

尻尾を踏めずに尻尾に巻かれた話

テール・ツイスター L. 武川 圭弘

Tail Twister (以下T.T.略)をやれと指名委員長から言われた時、前々からT.T.ならやっても良いがと言っていた手前、断わる事もならず、つつひき受ける破目になり一年。色々なことが思い出される。1976年度初の理事会の席上、幹事、会計からアクティビティの資金はドネーションから捻出するのだからT.T.はできるだけ多くのドネーションをとって欲しいと注文をつけられ、はたと困惑。なぜってドネーションはもともと寄附という意味だし、それを幾ら出せというのは抵抗感が強すぎるし、第一ライオンズの知恵のある人は英知を、金のある人は金を、金も知恵もない人は(こんな人がライオンズメンバーにいないはずがないが)体力をアクティビティにという趣旨にも反する…と早速逃げ腰。でも役目上、事業予算に見合うものは集めざるを得ないし、幾ら集るか分らないが、今日は幾ら出せとって金額の指定をして取ることはしませんよと妥協。又ドネーションをする人が気持良く、そしてその意味をメンバーに伝えることができるようチャリテーカーにコメントの項を設けて下さいとお願いし(これは20年以上の歴史を持つ広島L.C.にメイクアップした時にT.T.がドネーションをしたメンバーの一言を披露し、その喜びといったものを全員に伝え感銘を受けたのに倣って)、更に説得力のある副T.T.のL.釜中にドネーション集めを頼みこみこの第一難関は突破。それにしても事業予算に見合うものが集められるか?といった不安のまま、挙句の果て、「今日は全員〇〇円お願いします」と開き直れば、昔から「君子豹変す」と言われていることだし、で一段落。でも金額を言わずにドネーションを集める為にはこちらが大いに勉強をして出して

もらわなければ、それには例会で少しでも得るものを持って帰ってもらわねばと新聞、雑誌等ネタ探し。人からは「講義でしゃべり慣れているから楽でしょう」とか「話すのが商売だから大したことはないでしょう」と言われるが講義は自分の専門知識を教えれば済むし、それにノートなり本といったものを見て話せば良いのだが、T.T.となると一国一城の主であるメンバーの前で話すのだし嘘も言えず、T.T.の名の如く尻尾を踏んで例会に活気を与えるのが役目だが、踏み過ぎてかみつかれたらどうしようと身も細る思い。あれやこれやと考えるとどうしようもないし、なるようになるとクイズをひっさげて初仕事の例会場へ。だが案ずるより産むが易いで初回はもとより、いつの例会でも多くのメンバーの御協力に依り多額のドネーションが集り、殊に「例会に出席できたのだからそれに感謝をして」といったメンバーがふえ、当初の事業予算を大巾に上廻った実際のアクティビティの費用を賄うことができ、しかも5周年記念事業の待っている次年度へかなり繰り越しができ無事にT.T.の任を終えさせていただけたことはメンバー各位の御協力に依るもので深く感謝する次第です。T.T.に指名された時は例会の盛り上りを図るため名T.T.たらんとしたものの、一年を過ぎた今、ふり返って見ると、あれもしたい、これもしたいと考えていたことが十分にできず、特にメンバーにマイクを渡し話してもらおうということが出来なかったとは残念なことであり、迷T.T.はおろか、Tail Suffocater. になっていたようである。しかし一方ではT.T.なら今一度やっても良いなど考える昨今である。(Suffocate は声がでなくなる窒息させるという意味)

「スマートでなかったテーマー」

ライオンテーマー L. 宮田 種夫

「テールツイスター」「ライオンテーマー」役員名の内で、この2つがスマートな横文字であることに以前から何故だろうと思っていた。一年前テーマーに指名され「なるほど」とその意味がわかった。テーマーの主な仕事は、会長、幹事の志向通りに例会等の準備をし、あと片付けをすることである。この役名を日本語で表わそうとすると「準備あと片付け」となる。だからスマートにライオンテーマーとなっているのだと思う。この一年間をふり返ると私の場合は日本語の役名の方がピッタリだと思う。といっても準備万端滞りなくという訳には

はいかずメンバーの皆様にご迷惑をおかけしたと思います。寛容の精神でお許し下さい。テーマーの仕事は幹事の事前計画と指図がはっきりしていればしごく簡単である。その点、本年は名幹事に恵まれ幸せであった。しかし準備となると例会ごとにメンバーより早く出席すること、その折、協力していただく人が是非必要である。本年は副テーマーのL.中尾が私事を忘れ指導と協力していただきました。この機会を借りてL.中尾健一にお礼申し上げます。次年度テーマーL.藤原一彦のご活躍を期待致します。

東南アジアフォーラムに参加して

一年理事 L. 太田 貞雄

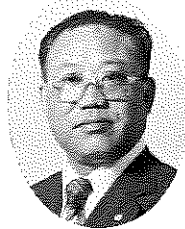
昨年11月末、L.中辻、L.梅田の三人でマニラで開催されました東南アジアフォーラムに参加しましたが、その折、感じましたことを述べさせて載せます。会場には日本のメンバーを主力として、アジア各国より自由を守り平和を願うメンバー約5000人が集りマルコス大統領の演説に始まり終始盛大に大会が続けられました。夕刻より「東洋の夕」という名のもとに晩餐会が行われましたが、その席上韓国メンバーが多数で韓国が共産勢力の侵略の脅威に脅かされている現状を各国メンバーに切々と訴え、何とか祖国の平和と自由を守りぬく為、協力を求める旨、要請している姿を見て、近隣とは言え韓国に比べ平和を謳歌している現状の日本がいかにも恵まれた環境にあるかという事をひしひしと痛感しました。また国情、風土が違うとはいえフィリピン人

の行動は何事もルーズ極りないように我々日本人の目に映ります。この国では何事をするにも「適当に」する事が最も適当で良いようです。例えば今度の大会の開始にしても大統領の到着が30分程遅れ、そのため定刻より大幅に開会が遅れましたが、それでも関係者は慌てることもなく平然としたものでごく当り前の様子です。これを見てこの国のライオンズクラブの例会は定刻通りに開会すればかなり多数の遅刻者が出るだろうと言う声が日本のメンバーの中から相当聞えました。とにかくこの国の民族は時間的な観念はでたらめに近いようですが、全島に唯一本しかないという国営鉄道にダイヤが全くなく乗客が増えれば発車するそうですから推察できます。また無賃乗客が多く検札が来れば飛び降り下車し、車掌は無賃乗客から運賃を貰えば小使銭にボ

ケットにしまいこむそうです。警官は小使銭が欲くなれば街頭に出て、交通違反者から罰金代りに少々の賄路をかすめ取るそうです。帰路マニラ空港で税官吏が検閲中の私の鞆からタバコ二箱を抜き取り“サンキュー”と言ってニタリと笑いますので全くと呆れたものです。(L.中辻も同じ経験をしたそうです) こんな事をして罪悪感すら持たず役得位にしか考えていない彼等の行動は長い間スペイン、アメリカ等先進国の植民地として隷

属した植民地根性から抜け切らぬ処に原因の一つがあると思われま。ともあれ他国民族の批判する前に我々堺人は時間的観念を是正せねばならない点が多々あると思います。昔から大阪の伝統ともいえる大阪時間を大切に守っている人が、我々の周辺に余りにも多過ぎる様に思われます(私もその一人ですが) 集会、会合などで定刻迄に会場に行くと正直物が損をするというようなことのない日が一日も早く来るようにお互いに努力したいと思います。

第一副会長としての 想 出



第一副会長 L. 福田 一 夫

第一副会長の任務は会長が何かの理由によって任務の遂行が不可能になった場合、第一副会長は会長と同等の権限をもって会長の任務を代行するとあります。中谷会長は終始クラブの行事には皆出席でありましたので私は気楽にさせて戴きました。会員増強には量より質との基本方針にのっとり進めて参りましたが本年は2名の増員だけにとどまり不成功に終わりました。そして退会会員が増えました事は担当副会長として活動の統括ができ得なかった事に対して深く反省をしております。メンバーは融和と協調が必要であり、会員は他の会員達と協力し合って目的達成していく事のできる人でなければならないとつくづく考えた次第でございます。8月25日例会に私の担当として大森和子女史をゲストスピーカとして「人に好かれる話し方」と題して講演をして戴き、大変好評であったと思っております。大勢の人の心を動かし、変えさせ、企業の目的に積極的に努力させていく事がリーダーにとって大きな仕事の一つであります。私達はクラブに於いても、社会に於いても、も

っともっと話すという事に真剣に取り組まなくてはいけないのではないのでしょうか。私は人間の幸福の条件にイギリスでは医者、弁護士銀行家を友人に持つ事が一番幸せであると聞いた事があります。私はライオンズクラブに入会して一番嬉しく思った事は新しい多くの友人ができたという事です。人と人との心のつながりを大切にすることによって必ずチャンス、幸運がおとずれる。ところが自分本位で相手を利用しようとするると反対に失敗や不幸を招く事になるのであります。したがって良き人とのつながりを持つには先づ自分自身がよき人となる事です。最後に出席、会員、計画、財務の各委員長並びに委員の皆様方にこの一年の協力を感謝致すと共に厚くお礼を申し上げます。

そして堺東ライオンズクラブの発展と益々の友情をもち上げていこうではありませんか。



二年理事として

二年理事 L. 中 尾 健 一

私は二年理事としていつとなく一年が過ぎ事となり新年度の新旧交代をする日が近づいてまいりました。一年間をふりかえりみて、私はただ思っているのは、やはり福祉国家にするのだとか、GNPとかい、ますがやはり人間の本当の幸福とはなんだろうかという事を原点にかえて考えるべきではないかと思うのです。経済成長さえあればいいというのではなくて、やはり人間というものは、精神的に安定してそれに相応した物質的なものがついていくというのが本当の人間のあり方だと思

います。私はライオンズのメンバーである自身自身がライオンズの論理と理念に基づいて行動し人と人との心をつなぐ架橋の建設を望む人の集りです。その中で私はともに行動して働いてくださったメンバーの皆様方のおかげで一年の理事としてできました事はこの上なき喜びです。なに事もできなかったような気がいたします。これからもライオンズの名声をけがさず皆様と共に進んでいく所存です。本当にありがとうございました。

今年の思い出例会あれこれ

情報PR委員会 L. 角 谷 順 亮

ライオンズに入会して早くも五年、既に、114回の例会を終りました。今年度もL.中谷会長を初め役員理事の諸兄のご熱心な運営とチームワークにより一年間本当に楽しく例会に出席させて戴き感謝致して居ります。情報PR委員会を代表し今年の思い出例会について書けとの事ですが、私にとりましてはすべての例会が忘れられない思い出で一杯です。特にL.西川より始ったメンバーのドクターに依るスピーチはとても印象的でした。他のスピーカーのお話もこれ位、熱心に聞けば会長、幹事もさぞ気が楽なことでございさて恒例のクリスマス例会また5月15日の雨の金剛山上での家族例会、共にとても印象に残りました。特に金剛山では風雨注意報が出ていて風速が15mを超えるとケーブルはストップするとの事、窓外は霧で全然見えず灰色の空高く昇ってゆくケーブル内ワイワイガヤガヤにぎやか

な事。そして例会場である香楠荘に入ってビックリ、ライオン旗を始めゴング等、例会の七つ道具を運び上げ飾られた会場、全く幹事を始めライオンテーマL.宮田、L.中尾健の責任感には驚きました。陰の力として目立たないのに黙々と責務を果される、これが真のライオンズではないかと無責任な事をいっていた我身が恥かしくなりました。それにしても今年の下半期L.小路口が病床につかれ、あの何時もにこやかな笑顔が例会場で見られなかったのは非常に淋しく感じられました。

一日も早い全快を心からお祈りします。

我が堺東ライオンズクラブもいよいよ五周年式典が近づいて来ます。我々もこれを機会にライオンズの原点にかえり、お互いに健康に注意して十周年、二十周年に向ってがんばろうではありませんか。

出席委員長 L. 三原 宏 己

昨年四月、故L.池の急逝により委員長の大役を仰せつけられた時、それまでは諸先輩の言動の通りに歩んでいれば良かった私に、果してその義務を全うできるかどうかの心配が先に立ち自分の勉強不足を棚に上げ、あわててライオンズ必携を読むやら、先輩の方々に教えを乞うやら、しばらくは大変な日々が続きました。

出席率の発表でもメンバーの方々のお顔がはっきりわかるようになりましたのは、かなりの時間を経過した後でした。幸いなことに右に左にうろろうろする私を皆様方は、暖かく見守っていただきました。今思っても顔から火の出る程、恥ずかしい思いです。反面それまでは、ただ何となく例会に出席していた私も、ライオンズクラブにおける出席の重要性も体験できました。

常々ライオンズは出席に始まり、出席に終わると言われておりますが、例会を重ねるごとにその思いも強く感じられるようになりました。この貴重な体験を今後も忘れることなく、メンバーの一員として行動したいと思っております。

ようやくその大役も終わろうとしています。浅学非才の私が曲りなりにも、その職責を全うできましたのも、メンバー各位より寄せられました御指導、御鞭撻、御協力の賜ものに他ありません。ただただ感謝の気持で一杯です。本当にご協力ありがとうございました。

最後にこの一年間御苦労をおかけした委員の皆様へ心よりお礼申し上げます。

社会福祉委員長 L. 浅野 亮

今年度クラブ方針通り、委員会審議、理事会決定、例会発表のルールに従い五周年記念事業を配慮し、概算必要経費額を提示、その了解の上で第三副会関係三委員長合同のアクティビティ年間実施計画予定表を作成、例会にて発表、その予定表を全会員に配布しご理解、ご了承を賜り、変な圧力やスタンドプレー等もなく、スムーズに実現できました。

8月の堺市日高小年自然の家に壁掛用鏡等の寄贈を初めとし、堺市養護教育研究協議会への協力金、福生園、八田荘両老人ホームに対しては、ホーム側の希望物品をアクティビティとし、最後の春の交通安全運動に伴う白さぎ駅での街頭キャンペーンに会長初めとする有志の労働奉仕等、当委員会だけでもアクティビティ件数9件、金額123万3千円余と労力奉仕2件ができましたのも、クラブ会員皆様のご協力、ご理解と当委員会委員各位のご尽力により、また情報PR委員会との提携というより同委員会のご活躍、ご尽力により、堺北警察署に対して堺市内重要幹線道路上、陸橋6ヵ所に交通標識を設置、交通事故防止はもとより、当クラブのPRをも兼ね得るアクティビティは勿論のこと、再三に渡り他の寄贈場所にもご同道いただき、写真撮影等種々のご協力に対して同委員会にお礼申し上げます。

さて、反復アクティビティの重大必要性からも、本年度は第100回例会記念事業推進委員会のご指導により、当クラブ当初よりアクティビティを重ねてきた児童養護施設泉ヶ丘学院に対して、生徒バス旅行（大阪国際空港見学と三田くりひろい）ならびに学院希望の野球用バックネット他を、みやげ代りとして寄贈という労力奉仕を兼ねたアクティビティの成功は、記

念事業として全会員の減私的な奉仕であったと感謝申し上げます。

『このあいだはくりひろいや、大阪空港を見物させてもらい、どうもありがとう。くりひろいはとつてもたのしかった。そしてバックネットもプレゼントをしてくださってとてもあんしんしてやきゅうもできます。またどっかへつれていってください。いまのぼくは心からかんしゃしています。』

陵東ライオンズさま

4の1 栗田 昌也 』

接待委員長 L. 木下 秋水

ライオンズクラブ活動を円滑に運営する為に種々の委員会が設けられている。その中の一つに接待委員会があるが、その任務についてライオンズ必携には色々示されているが、要約すると、

- ①例会においてゲストおよびビジターを歓迎して、その接待に努める。
- ②会員の病気または慶弔に際しては、率先してこれを訪問する。
- ③新会員が1日も早くクラブになじめるよう、ライオンテーマーおよび会員委員会と協力する。
- ④新会員の招請について会員委員会に協力する。
- ⑤当地域への転入者および家族を歓迎し、すべての地域社会活動に参加するよう勧誘する。特に新転入男子に対して、ライオンズクラブの諸会合への出席を勧める。大体以上のようなものが当クラブのこの一年間の活動としては、①に就いては当然どこのクラブでも行っているが、当クラブでは特に副委員長L.辰己の考案で来賓に対して、昨年度の機関誌「陵東」の第七号と当日のプログラムとを封筒に入れてスクールを行ったことであった。我々委員三名（L.藤井太L.辰己、L.木下）がライオンズ必携を各々分担して約3時間に亘ってライオンズとは如何なるもので、その運営のあり方等に就いて説明した。この事は後日、非常に有効であったと自負している次第です。ただ②の慶弔に関する事は幹事が行ってくれているので当委員会では行わなかった。また⑤も実行がむずかしいので必携に示されているようにはできないと思う。④の新会員のスポンサーについては、L.藤井太一はよくその実績を示された。

会則委員長 L. 城 光 己

一本の明かり「一隅を照すものは国の宝なり」をモットーに本年を迎え、はからずも会則委員長の席に付かなければならない私に、無事一年間が努まるか不安でなりません。今、静かに一年を顧みて、無事任期满了と申し上げるべきところ、世間一般の無事とは、無事平穏とか、無事無難とか悪い事のなかった無事であり、私の無事とは無事が異り、悪い事もなかった？が善い事もしなかった、何もしなかった無事で、自らを顧みて、深く反省しております。各ライオンの足手まといであった私を、各委員のライオンの温い友情のご協力に依りこの一年を大過なく過ごさせて戴きました事を、改めて厚くお礼を申し上げますと共に、堺陵東LCの今後益々の発展とメンバーのご健康を心から祈念して、ご挨拶と致します。尚、今年会則内規一部変更もでき、これ一重にメンバーのご協力に感謝致して居ります。

“光陰矢の如し”

親睦と協調の賜



第二副会長 L. 辻野 建市

「光陰矢の如し」と申しますが、過ぎ去ったこの一年をふり返ってみて、正にその通りと感慨無量のものがあります。この間、浅学非才の私を陰に陽にまた、公私に亘りご支援ご鞭撻を戴いた第二副会の各委員長の皆様ならびに各委員、全メンバーの皆様に厚くお礼申し上げます。

この一年間はガバナー方針としましてメンバー相互間の親睦と協調を図る点にありましたが、第二副会としましてこの方針をモットーに接待委員会は新メンバーのスクールを開きライオンズムの徹底を図り、あるいはまた、たくさんのゲストを迎え、その接待に細心の配慮を図るなど並々ならぬご協力を戴きました。また大会委員会は各種大会は勿論ですが、特に335B地区年次大会には全員登録とされ、大会当日のメンバーの活躍を詳細に記録される等、成果をあげて戴きました。また会則委員会におきましても永年に亘る懸案事項の慶弔規定の改正に着手され、L.篠田のご協力等を得て立派にこれを成し遂げられました。また情報PR委員会は今まで当クラブの対外的なPR不足に着目され第三副会の社会福祉委員会と連帯、協調して各主要幹線道路の歩道橋に交通安全スローガンを掲げる等、堺陵東LCのPR向上に大いに役立ちました。これは今後も継続される事になっており、年と共に益々効果をあげる事と思えます。なお第二副会全体としましては年末のクリスマス家族例会を計画委員会のご指導を得

てロイヤルホテルで開催しメンバー皆様の絶大なご協力によりまして今まで最高の出席率となり、盛大に、なごやかに、しかも大した事故もなく閉幕できました事も大きな思い出として深く印象に残っております。

なお第二副会担当のゲストスピーカーとしましては元日本経済新聞の経済部長今堀 努先生をお招きし「選挙後の景気はどうなるか」という演題でこれからの経済界の見通し等について興味ある大変意義深い御講演を戴き、多数のメンバーが感銘深く承りました。

以上のごとく各委員長初め委員の皆様には深刻な経済不況のもと多くの困難、アクシデントを克服され、立派な成果をあげられました。これはとりもなおさず委員長、委員の皆様方のなみなみならぬご努力とガバナー方針のメンバー相互の親睦と協調の賜であり、ここに改めて深く感謝と御礼を申し上げます。

ほんとうにこの一年間ありがとうございました。最後に不幸にも病床に倒れられた前第二副会長L.小路口の早期全快を心よりお祈りするものであります。



一年をふり返って

計画委員長 L. 篠田 桂司

皆さん、一年間いろいろと御協力いただきありがとうございました。昨年6月に計画委員長に任ぜられてすぐに委員諸氏と年間計画をたてました。主な内容としては、百回記念例会をどのように行ない、家族例会は恒例の年末以外に五月にもう一度家族親睦例会を行なうことがありました。百回記念例会については、第三副会長L.河本を委員長として実行委員会ができ、記念例会は華やかに金高のかかることはやめて、質素にし、その反面有意義なアクティビティを行なうこととし、そのように実行されました。家族例会は、年末の家族例会は第二副会に担当をお願いし、親睦家族例会は計画委員会が担当致しました。年末の方はロイヤルホテルで盛大に行なわれ

ました。親睦例会については第一候補として自衛艦試乗、第二候補として金剛山香楠荘とし、自衛艦試乗につきL.大門に奔走していただきましたが日程の都合がつかず、5月15日に香楠荘で行ないました。当日は強風注意報が出、ロープウェイも止るかも知れない悪条件でしたが、メンバーの他ライオネス子供さんも多数参加いただきありがとうございました。年度初めの例会では時間が余ったり、超過したり、大変ご迷惑をかけましたがどうやらこうやら一年間計画委員長の役目を果たさせていただきました。

各副会長、健康増進例会にご協力いただいた医師メンバー、またスピーカーをご紹介くださった各メンバーには特に感謝申し上げます。

年次大会に参加して思う

大会委員長 L. 大前 清

今年度は終わった。1年たつのは実に早い。次年度はクラブ誕生5周年に当る。各メンバーともライオンのうるわしさを充分身につけた良き社会人として成長し、それが、クラブの和合を保っている何よりの旗印である。そういった意味から考えても、次年度の5周年記念式典は、ただ祭ごと終るのではなく互いの進歩と平和と友愛を願い意義ある大会に導くよう、クラブ全員が努力しなければならないと考えるのは、各メンバーとも共通した願いであると思う。L. 米鳥のごあいさつの中に友愛と寛容の精神がにじみ出ている、我らライオンズを益々勇気づけるものに充分であったと思う。これからは大会委員会は国際大会始め地区大会の参加に意欲を燃し、全員参加を呼びかけ新しい空気を導入して頂きながらライオンの誇りと責任を育てて頂きたいと思う。大会に参加し互の情報を交換し合い、その見識を高め更にライオン精神を養い、そして社会奉仕に精進するためには、先ず自身

の事業及び職業を育てなければならない。今年度は経済の年といわれ、3年越の不況が浮揚されることは全ての人々の願いである。先般の公定歩合も1%引き下げられたし、政府も財政等融資に力を入れ懸命の努力をしているがなかなか景気の回復は鈍足である。考えてみればオイルショック以来の出来ごとであるが、48年当時（経済成長期時代）の原油価格が4.5倍にもはね上り、世界の金が油産国のアラブにアラブにと流れ、アラブはその金を貯えているので世の中には金が回らない。世界中が不況にあえぐのは当然の話である。そんなことから考えてももう今までのような高度成長時代は有り得ない。そこで我々とすれば企業を守るということに色々な意見もあると思う。その一つに互の知識を結集し、管理者自身が人の頭に立ってがんばり新しい技術を求め新しい技術を開発しがんばって行くより方法はないと思う。又一方世の中を安定させなければならない。世の中を安定させるため

には、先ず政治の安定を計っていかなくてはならない。互に理解し互に協力し合って自由主義社会を守っていかねばならないと思う。そして自由主義体形の中で我が事業を伸し、我が職業を育て、初めて良き社会人とな

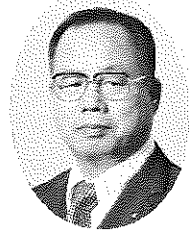
ってライオンズ活動を育てて行きたいと考える一人である。終りに今期当委員のL、小路口の1日でも早く回復され元気な姿でライオン活動されることを心からお祈りいたしたいと思ひます。

「副委員長として」

財務委員会副委員長 L. 江 辺 信 郎

本年をふりかえって何か書けという依頼でしたが、正直なところ本年度の仕事は委員長の大浦が一人でやってくれました。私としては何のお役にたつことなく単に名前を連ねているだけという誠に恥しい一年でした。委員会構成をふりかえる時、有能卓越した委員長が一人おられる場合どうしても他の委員はまかせきりになり働かなくなると思ひます。委員長は責任上、非協力的な委員に分担の仕事頼むより自分一人でやった方が手取り早くスムーズにゆく解釈されるし又それが当然であり、その結果委員会の委員は働かなくなる

という悪循環と思ひます。いう迄もなく各委員会に所属するなら委員全員で委員長をもちたて責任をまっとうすべきことであると思ひます。本年のわが財務委員会のように委員長が一人でやるからまかせておくと私を含め委員が知らん顔をする事はもつての他でこの事例を今後委員会活動の糧として一人一人がLの自覚のもとに委員長をもちたて協力すべきと思ひます。他の委員会は委員長をもちたてて輝かしい活動をされたことと思ひますが私の委員会の私自身の反省をまとめてみました。申訳ない一年でした。来期は頑張ります。



真のアクティビティを

第三副会長 L. 河 本 貢

『こ、え乗りたい！』
(飛行機の操縦席の模型のようである。)
『ここへ乗らないで下さい』と書いてあるからダメ！』
『それでも、ミエは乗りたい！』
(その後の方に客席のように座席が並んでいて、その指さして)
『あそこにしなさいあそこなら座れるから』
『ハァーイ』
と、素直にそこへ行って皆んなとうれしそうに座った。(確かミエと呼ぶ可愛い幼稚園児ぐらいの女の子でした。)
この会話は10月31日(日)養護施設泉ヶ丘学院の子供達と観光バスで三田方面へ「栗ひろい」に行った途中の大阪空港の資料館に於ける…

上記…を付した会話即ち無理と解っていないながら甘えてみたい気持ちでいっているとその時実感として強く感じました。両親の愛情に飢えている子供のなんと愛らしい人懐こい甘えではありませんか。またその次に「ハァーイ」といっての次の屈託のない行動、純真そのものをみせ、教えられたようでした。この時私はアクティビティのあり方について深く考えさせられました。即ちただ品物あるいは金銭によるアクティビティも実状によりそれなりの意義を有しますが……
上記のようなアクティビティにはその行事のなかで心と心のふれあいより言葉ではいい表せないお互になにかそれ以上のものを感じさせるられものがありました。この一年間を省

りみて第三副会長としては各委員長を中心に種々計画実施をしてきましたがそのなかで特に強く心に残るアクティビティでした。私はこれこそが「真のアクティビティ」の原

点に通ずるものだと感じつつ……尚所属委員の皆様のご協力をいただきましたことに深く感謝いたします。

YE委員会のこの一年

市民教育青少年交換委員長 L. 川 井 敏 弘

YE委員長という大役を仰せつかりましたが一年間大過なく全う出来ましたのも一重にクラブメンバーの皆様方のお蔭と感謝いたしております。YEの事業としては一番華やかでもあり、又一番心配でもある派遣学生を当クラブより初めて派遣することは私本心にうれしく思っております。派遣学生の募集をしましたところL藤井、勉のLeo(御令嬢)が応募されましたので早速キャビネットの方へ連絡をし諸事万端事務処理を致しました。派遣学生にはそれからが大変です。本日迄に5回のオリエンテーションに出席して頂きその度に高度な語学のテストを受けられ、335

地区で多くの応募者の中で72人が選出されました。その72人中Aクラスで抜擢されましたことは本当に私事のように感激しております。7月16日カナダへ出発されます。藤井悦子さんもカナダで多くの社会学の視野を広められ国際親善にむくられるよう期待し願っております。出発される時には私は次期委員長にバトンタッチしておりますが何だか残念な気持ちも致します。元気で帰国されることを願ってやみません。派遣学生についてここまで曲りなりにもこぎつけましたことは第三副会長初めYE委員会の諸Lの蔭のご尽力のたまものです。ありがたく思っております。

くらやみに光を

視力保護・盲人福祉・聴力保護
ろう者福祉委員会 L. 香 川 哲

一年前、視力保護、盲人福祉、聴力保護、ろう者福祉の委員長を引き受け、自分とは縁遠い存在であった身体の不自由な人々の望み要求を見聞するにつけ、今までの福祉といえは行政のすべき事であるという社会的通念があやまりであり、実際には行政及び金銭的援助だけではどうしようもなく人間の愛と奉仕の精神がプラスされてこそ福祉と言うものが完成することを知りました。

さて視力及び聴力保護という期間はあまりに短いため、私達委員会では一年間視力保護を重点テーマに選んで推進することにいたしました。今日盲人に対する理解も深まり盲導犬の育成、信号機への音楽の取り付けなど徐々にではありますが福祉行政も進んでいます。

しかし盲人にとっての一番の喜びは開眼これ以外にはないでしょう。皆様はすでにご存知のことと思ひますが、我国の盲人のうち二万五千人位の患者は角膜の移植により開眼可

能と言われております。しかしPR不足のためか我国の伝統及び思想ゆえか、あるいは失明に対する恐怖心が死後の世界にまで続くためか、献眼登録者は非常に少なく開眼可能な人を光のない世界に閉じ込めております。

アメリカのライオンズは早くからアイバンク運動に協力し、また日本においても全員献眼登録を済ませたクラブも多数あると聞き及んでいます。私達クラブでも62名中三十名の方が献眼登録して下さり、全員登録にあと少しというところまでまいりました。

今年我々のクラブでは五周年を迎えます。今こそ行政では行ない得ない福祉の谷間に、我がライオンズ精神、愛と奉仕を五周年記念の大きなアクティビティとして全員の献眼登録をお願いしたいと思います。そしてそこから一般の方々へのアイバンク運動を進め、一人でも多くの人々に開眼の喜びを与えようではありませんか。

堺陵東L.C. ゴルフ部長としての 二年間を振り返って

L. 藤 木 正 夫

ゴルフ発足二年後に前部長L.山田修の後を受けてゴルフ部のお世話をさせて戴く事になりましたが突然の事で、どうすれば良いかと一瞬とまどいました。前部長のL.山田修の残された足跡が余りにも大きかったので、その後を継ぐ事に一種の恐怖さを感じました。だが拜命した以上全力でぶつかれば自然と道は開けるであろうと一種の捨鉢的な気持でゴルフ部発展の為に役立ちたい、また尽すのが使命であると考え私なりに努力すべしと覚悟を新たにしてスタート台に立ちました。口幅ったい言い方をさせて貰えば、私のモットーはガバナーや当時の会長L.藤井勉また現会長L.中谷が唱えられたクラブの方針である「親睦」に繋るならばと思い早速、副部長にL.大前、幹事L.太田、会計一年目はL.河原、二年目はL.中村宗三の方々にお願いして強力なスタッフを作り上げる事に成功しました。この強力なスタッフの方々の全面的なバックアップのお陰で私の至らぬ処をカバーして戴き、円滑な運営をさせて戴きました。この方々に誌上で大変失礼ですが厚くお礼申し上げたいと存じます。さてこの二年間を振り返って見ると、色々なことがありました。かつらぎCCでの50年度ゾーンの親善ゴルフ大会に於て当クラブは記念品係を仰せつかりました。何しろ限られた予算で充分の賞品や記念品を賄なわねばならないので、L.大前、L.太田、L.城、L.佐藤の四名の方々に御同判願い二日を費して漸く選定する事ができました。結果は私なりに上出来だったと自己満足している次第です。51年度ゾーン大会は泉ヶ丘CCで挙行政され、

この時はパーティ係に当り、一回目同様限られた予算内でおいしいものをたくさんという訳にはいきませんが、これは記念品ほど気を遣わずにすみしました。任期中この二回の親善ゴルフ大会に於て我々世話人として不行届きの点多々あったと思いますが、まああの成果で無事終り、堺陵東L.C.の恥となるような事は決してなかったと思っております。クラブ単独のコンペにつきましては、メンバー各位の絶大なるご協力を戴き鍛えぬかれた技と立派なマナーを身につけられた皆様方に今更何も言う事はありません。私としましては次の部長をL.大前にお願いしておりますが、あくまでもマナーを大切にしてお世話して下さる方々に迷惑の掛らないように協力してあげて戴きたいと思っております。この二年間を振り返ってみてゴルフ部の発展に何の寄与もできなかった事を後悔しておりますが、ゴルフ部としてはクラブの親睦強化の一端を担ったのではないかと自画自賛して自己満足している次第でございます。冒頭にも申し上げましたように飽く迄も親睦に全力をあげて、堺陵東L.C.の名声を全国的に轟き渡らせるようなクラブ仕上げる為、ゴルフ部がたとえ捨石であってもそのような心意気のあるゴルフ部であって欲しいと思っております。相前後して本当に読み苦しい私見となりましたが、堺陵東L.C.の益々の発展の為その一翼としてのゴルフ部を立派に仕上げて戴きたく、お願いしてペンを終えたいと思っております。

本当にありがとうございます。

会報発行にあたって

情報PR委員長

L. 山 田 修

先ず本会報発行するに就いて編集取材関係でご協力、ご支持を賜りました多くのメンバーに心から厚くお礼申し上げます。内容に就きましてはつとめて皆様の玉稿を忠実に編集致しました積りでございますが、何分、会社の仕事の時間をぬって、一字一字原稿用紙にうめて行きましたものですから誤りがあるかも知れません。これら内容についてのお気付きの点がございましたらご叱正賜れば幸甚に存じます。主として本号は今年ご活躍された役員、委員長の方々から玉稿を戴きましたけれど、当委員会にもう少しの予算があればメンバー全ての人々から玉稿を戴ければこの一年をふり返っての貴重な記録と思い出が繰られたものと思っております。

末筆ながら今年一年ご教導、ご協力賜りました会長、幹事初め全メンバーの皆様へ厚くお礼申し上げます。

情報PR委員会一同

あ と が き

会報第8号を発行するはこびになりました。毎年もっと早く発行されておりましたが本年は任期満了後に原稿を集めました。編集途中で次年度は5周年記念号を立派なものを発行されると聞き、でき得る限り本号は編集予算を節約し、次号にひきつぎたいと思っておりました。しかし役員の方々、委員長の方々より立派な玉稿を賜り、永久にこれを記録し保存できることを本号の最も特長とするところでございます。

第二副会情報PR委員

第二副会長 L. 辻 野 建 市
委員長 L. 山 田 修
委 員 L. 角 谷 順 亮
L. 森 村 敏 弘
L. 中 村 宗 三
L. 中 尾 健 一
L. 東 瀬 浩 三